

教室や家庭でのサインについて

1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に、注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

サイン
<ul style="list-style-type: none"> ○嫌なあだ名が聞こえる。 ○席替えなどで近くの席になることを嫌がる。 ○何か起こると特定の児童の名前が出る。 ○筆記用具等の貸し借りが多い。 ○机や壁等にいたずら、落書きがある。 ○机や椅子、学習用具等が乱雑になっている。

2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。児童の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のようなサインが見られたら、学校と積極的に連携を図ることができるように日頃から保護者に伝えておくことが大切である。

サイン
<ul style="list-style-type: none"> ○学校や友だちのことを話さなくなる。 ○友だちや学級の不平・譜面を口にするが多くなる。 ○朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。 ○電話に出たがらなかったり、友だちからの誘いを断ったりする。 ○受信したメールをコソコソ見たり、電話におびえたりする。 ○不審な電話やメールがある。 ○遊ぶ友だちが急に変わる。 ○部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。 ○理由がはっきりしない衣服の汚れがある。 ○理由がはっきりしない打撲や擦り傷がある。 ○登校する時刻になると体調不良を訴える。 ○食欲不振や不眠を訴える。 ○学習時間が減る。 ○成績が下がる。 ○持ち物がなくなったり、壊されたり、落書されたりする。 ○自転車がよくパンクする。 ○家庭の品物や金銭がなくなる。 ○大きな額の金銭を欲しがる。

